

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年3月28日

【事業年度】 第67期(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

【会社名】 応用地質株式会社

【英訳名】 OYO Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 天野 洋文

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田美土代町7番地

【電話番号】 03(5577)4501

【事務連絡者氏名】 事務本部副本部長 兼 経理部長 大倉 康宏

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田美土代町7番地

【電話番号】 03(5577)4501

【事務連絡者氏名】 事務本部副本部長 兼 経理部長 大倉 康宏

【縦覧に供する場所】 応用地質株式会社 横浜営業所
(神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目12番12号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2024年3月26日に提出いたしました第67期（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

2 サステナビリティに関する考え方および取組

(2)気候変動に関する当社グループの考え方および取り組み

2)指標と目標

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

2 【サステナビリティに関する考え方及び取組】

(2)気候変動に関する当社グループの考え方および取組み

(訂正前)

2)指標と目標

当社グループは、気候変動の関連リスクが経営に及ぼす影響を評価・管理するため、GHG（温室効果ガス：CO2）排出量総量を指標とし、中長期のGHG排出量の削減目標を設定しています。

< GHG（CO2）排出量の削減目標と実績（2023年） > (単位：t-CO2)

区分	基準排出量（2023年）				目標年排出量		
	単体	国内 グループ	海外 グループ	合計	2026年	2030年	2050年
Scope1	415	1,086	408	1,909	-	0 (100%)	0 (100%)
Scope2	942	1,134	366	2,442	-	0 (100%)	0 (100%)
Scope1+2 小計	1,357	2,220	774	4,351	1,351 (-3,000)	0 (100%)	0 (100%)
Scope3	17,866	14,836	8,262	40,964	-	0 (100%)	0 (100%)
Scope1+2+3 計	19,223	17,056	9,036	45,315	-	0 (100%)	0 (100%)

Scope3のCategory8、10、14および15については、該当はありません。

(訂正後)

2)指標と目標

当社グループは、気候変動の関連リスクが経営に及ぼす影響を評価・管理するため、GHG（温室効果ガス：CO2）排出量総量を指標とし、中長期のGHG排出量の削減目標を設定しています。

< GHG（CO2）排出量の削減目標と実績（2023年） > (単位：t-CO2)

区分	基準排出量（2023年）				目標年排出量		
	単体	国内 グループ	海外 グループ	合計	2026年	2030年	2050年
Scope1	415	1,086	408	1,909	-	0 (100%)	0 (100%)
Scope2	942	1,134	366	2,442	-	0 (100%)	0 (100%)
Scope1+2 小計	1,357	2,220	774	4,351	1,351 (-3,000)	0 (100%)	0 (100%)
Scope3	17,866	14,836	8,262	40,964	-	-	0 (100%)
Scope1+2+3 計	19,223	17,056	9,036	45,315	-	-	0 (100%)

Scope3のCategory8、10、14および15については、該当はありません。